

感染性廃棄物の 取り扱い及び廃棄方法

「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」を基本にしています。

＜感染性廃棄物とは＞医療関係機関などから生じ、人が感染し、若しくは感染する恐れのある病原体が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらの恐れのある廃棄物をいいます。

＜表示方法＞ **バイオハザードマーク**(全国共通)をつける

	橙色 血液が付着した ガーゼなど		黄色 針		赤色 血液などの液体
---	-------------------------------	---	----------------	---	----------------------

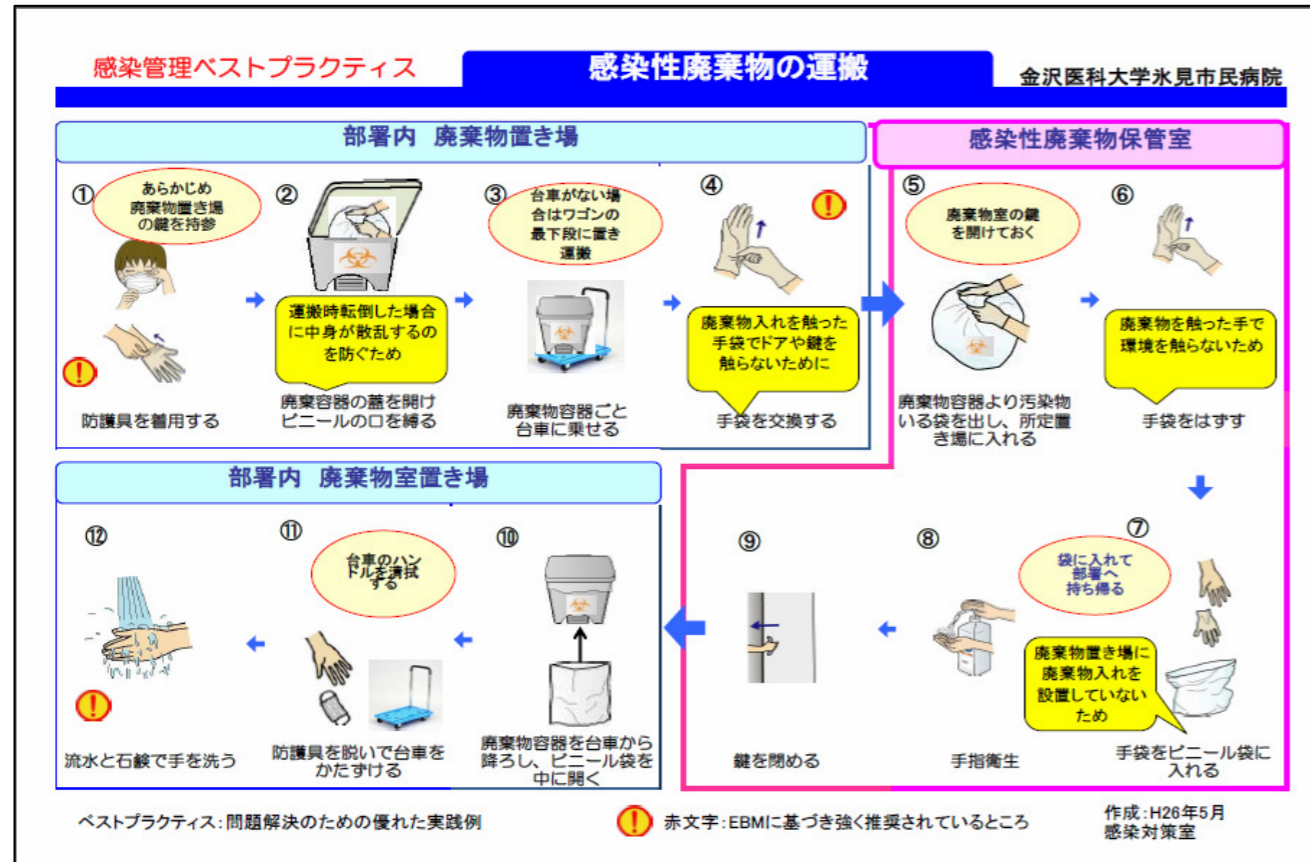


基本なし
汚水槽に廃棄または耐貫通性容器に入れ密封する

＜感染性廃棄物室(各階の一時置き場)への運搬手順＞

感染性廃棄物を取り扱うときは**手袋など防護具を着用して曝露するのを防ぎます。**

各廃棄物室前に自動センサーの手指消毒剤を設置し、手袋廃棄用のビニール袋を設置しましたので、下記の**イラスト手順書**に従って正しい手袋交換や手指衛生を実施してください。



あなたは何問正解できますか？

感染対策チェックテスト

Question ○×で問題を解いてみてください

- 1() 蓄尿バッグより尿を回収する時は、マスクと手袋を装着して行う。
- 2() 4人部屋の高頻度接触面(頻回に触れる場所)を1枚のクロスで拭き掃除した。
- 3() 流し台のスポンジは除菌用洗剤を使用しているため汚れたり壊れるまで使用する。
- 4() 針などの鋭利器材専用の耐貫通性廃棄容器が8分目まで入っていたので蓋を閉めて廃棄した。
- 5() 他院から紹介の結核疑い患者がN95マスクをつけて来院したのでそのまま外来で待機していただいた。



Answer

- 1 尿の廃棄時には、尿が手指に付着したり周囲に飛び散ったりしやすい状況です。そのため、尿中の細菌がほかの患者へ伝播する可能性があり、ゴーグル、マスクまたはフェイスシールド、ディスポビニールエプロン、手袋を適切に使用する必要があります。これらの防護具は目に見えない汚染を受けていることがあるので使用後は速やかに破棄し、手指衛生を行いましょう。 **正解 ×**

※標準予防対策の概念
すべての患者の①血液 ②汗を除くすべての体液、分泌物、排泄物 ③傷のある皮膚や粘膜との直接接触または付着した者との接触が予想されるときに、手洗いと手袋・マスク・ゴーグルなどのバリア(防護具)の使用により防護すること

- 2 環境には様々な菌があり、同じクロスで拭くと、クロスについた菌が移動していきます。また医療従事者の手指に付着して隣の患者の環境表面に触れることで移動していきます。そのため一患者ごとにクロスは交換します。 **正解 ×**
- 3 除菌は菌を減らすということで死滅させることはできません。また、湿ったスポンジは細菌の温床になります。台所回りなどの湿った環境を好む菌は**乾燥させることが一番効果があります**。2個準備し、1個は乾燥させ、交互に使用するのが良いでしょう。また、内部まで乾燥しないこと、少しでも栄養分が残ると菌が繁殖するのですが、壊れる前に定期的な交換が必要です。 **正解 ×**
- 4 満タンの容器に廃棄物を押し込むと鋭利器材が容器を突き抜けたり、中身がはみ出たりして受傷することがあります。そのため**8割程度になったら新しい容器に交換**しましょう。 **正解 ○**
- 5 N95マスクは空気中に漂う空気感染を起こす病原性微生物の外部から侵入を阻止するマスクで、患者の咳やくしゃみによる飛沫を吸着する機能はほとんどありません。また、呼吸する時、抵抗があるので肺機能が低下している患者は呼吸困難を生じることがあるので使用は適しません。**患者にはサージカルマスクを着用してもらい、医療者・面会者などはN95マスクを着用**します。また、救急外来に陰圧管理された「感染症診察室」があるのでそちらに案内し、診察出来るように取り計らってください。 **正解 ×**